

広報させば 情報カレンダー 06.10月



日	月	火	水	木	金	土
1 ピンクリボンフェスタ2006 キリンに接近！ 無料建築相談会 (15、21日も)	2 不動産無料相談会 食育講座「子どもの食」	3	4 中小企業金融公庫出張相談	5 県展 ～15日 食育講座「調理実習」(6日も)	6 三川内陶器市 ～10日 させば秋の花市 ～23日	7 動物獣舎探検隊 (21日も) 保育所体験 (18日も) シーカヤックマラソン大会 ～8日
8 住まい・るフェスタ2006、科学工作教室 (15、29日も) 市民体育祭 ～9日	9 体育の日	10 目の愛護デー	11	12 女性の悩み相談・子どもの人権相談	13 発明相談 戦没者追悼式 中学校体育大会 駅伝競技	14 シーカヤックモニターツアー (15日も)
15 秋のスケッチ大会、みんなであそび 4、チャレンジ登山、佐世保漁港お魚まつり	16	17 無料調停相談会 魚のさばき方講習会 (18日も)	18 市立総合病院の健康教室 小学校体育大会(Dブロック) 保育所体験	19 小学校体育大会(Aブロック) 無料総合相談	20 高校卒業予定者合同企業面談会	21 郷土史体験講座、かっちゃんアイラブフェア ～22日、休日労働相談 (22日も)
22 子どもエコツアー リズムin九十九島 児童管弦楽団ミニコンサート	23 医師による健康講話	24	25 小学校体育大会(Cブロック) 食育講演会	26 明るい選挙啓発入賞作品展示会 ～31日	27 小学校体育大会(Bブロック) YOSAKOIさせば祭り・前夜祭	28 YOSAKOIさせば祭り～29日 天体観望会 西海にせん市 (29日も)
29 あたご防火フェスティバル	30	31	10月は高齢者雇用支援月間、骨髄バンク推進月間、乳がん早期発見啓発月間、臓器移植普及推進月間 毎月第1水曜 中小企業金融公庫出張相談 (13～15時、佐世保商工会議所) 毎月第2金曜 発明相談(10時～15時30分、市役所商工労働課)			
8日 親子自然探検と子育て講話(22日も) 14日 バラ園ガイドツアー(15、21、22、28、29日も) 15日 「シーユー」親子遠足、パジルペースト作り講習会 18日 出前保育「みんなよっといでー」(24日も) 21日 男女共同参画宣言都市記念講演会 28日 佐世保港帆船クルージング、児童読書感想発表大会		11月上旬の主な行事予定 1日 出前保育「みんなよっといでー」(8日も) 3日 九十九島かき食うかき祭りイベント～5日 5日 科学工作教室、日曜日「シーユー」ゾウにエサをやるゾウ！ 8日 調理講習会・幼児食(おやつ編)				

**救急・火災**  
医療機関案内 ☎0956-23-8199  
火災情報 ☎0180-999-999

**エイズ相談・性感染症相談**  
専用相談電話 ☎0120-104-783  
Eメール shc783@city.sasebo.lg.jp

**教育相談**  
青少年教育センター ☎0956-22-0077  
(毎月第3日曜の13時～16時には、休日教育相談を受け付けています)

**女性相談**  
スピカ ☎0956-24-6180  
(水曜と祝日を除く毎日、9時～16時)

**消費生活相談**  
市消費生活センター ☎0956-22-2591  
(土・日曜、祝日、年末年始を除く毎日、8時30分～17時15分)

**10月の健康テレホン**  
県保険医協会 ☎0956-23-4300  
3分間のテープで、祝日は前日の内容が流れます

**月 献血**  
**火 脳脊髄液減少症**  
**水 新しい小児ぜんそくの治療**  
その 予防的治療  
**木 ツツガムシ病** **金 リストカット**  
**土、日 分娩時の大出血** その 前置胎盤

テレホンガイド

人のうごき (9月1日現在)

総人口 256,737人  
男 120,660人  
女 136,077人  
世帯数 100,690世帯

8月中のうごき  
転入 1,028 転出 778  
出生 218 死亡 203

見て、聞くさせば市政だより

テレビ 毎週土曜日放送(約5分間)  
NBC(9時25分) NIB(11時35分)  
NCC(11時40分) KTN(11時40分)

ラジオ NBC 毎週日曜日 9時25分  
FM長崎 毎週火曜日 9時05分

長崎新聞 毎月第2、4水曜日広告欄

テレビ佐世保 第3月～土曜日 18時45分



こんにちは市長です。

住民主体の「乗合タクシー」

高齢者になると、坂道を歩くのは辛いことです。道路も狭く、手軽に利用できるバスも通っていない、そういう「交通空白地帯」が市内には結構あります。

乗合タクシーで、その不便さを解消できないか、そんな願いを込めて、中通・横尾・梅田・保立町の自治会の役員さんが一つになって、ことし3月から試験運行が始まりました。

1日平均85人の採算ラインに達することは困難との予想もありましたが、運行経路、回数、停留所の変更など、根気強く話し合いが続けられ、地区住民へのピーアールも継続して行われました。そして、8月にはついに採算ラインを突破しました。

暑い夏だから利用者も多かったのだとの見方もありますが、ともかく、5カ月に及ぶ地区の皆さんの地道な努力が実ったものと、私は心から賞賛を惜しみません。交通空白という町の悩みを、町の人々が自ら考え、工夫し、一つずつ改善しながら、やっと目標を超えたのです。試験運行は、まだ来年2月まで続きます。どうか地域の皆さんもどんどん利用してください。

佐世保市長 光武 顕

歴史散歩 495

権現宮前の川渡瀬 (白岳町)

白岳町入口のバス停から、JRのガードをくぐって日宇川に向かうと、対岸の高台に真言宗の松尾山青蓮寺が望めます。川に架かるのが松尾橋。渡って青蓮寺下に立つと、高い石段があります。寺の裏に登る道で、登り口の脇に2基の石碑が立っており、小さい砂岩製の碑には「権現宮前川渡瀬寄進豊村利作」ほかの文字が読み取れます。現在は松尾橋から参道の石段まで約50メートルほどありますが、おそらく150年ほど昔の江戸時代までは、石段のすぐ下までが川だったと思われます。この付近は海水が満ちてくる汽水域で、対岸から参詣に訪れる人は橋のない時代、干潮時でも苦労したことでしょう。権現宮前の川渡瀬は、そんな信仰心の厚い村人のために、豊村利作さんほか有志の人たちが、



個人で浄財を出し合い、参道前の浅瀬に捨て石を入れ、さらに人が歩けるような飛び石を歩幅に合わせて敷き詰めたとみられます。

権現とは、江戸時代まで神と仏を一緒に祀った時の名称で、大明神と共に現在の神社の前身です。石

段上の松尾神社の前身が、熊野権現などと称していたと思われます。松尾はこの地が日宇村の時代に里免松尾山と呼ばれていた地名で、大正7(1918)年に書かれた「日宇村郷土誌」には、「後円融天皇の永徳2(1382)年、青蓮寺なる真言密寺の別当を附し」て祀られたと記されています。別当とは神社の神主がお寺の住職も兼ねて運営することです。

旧日宇村民から「権現さん」と親しまれていたであろう昔のお宮と川の姿がしのばれます。

(筒井隆義)



『人のうごき』の9月1日現在の人口や世帯数は、平成17年国勢調査の確定値を基に集計したものです(前月号までは速報値を基に集計)。